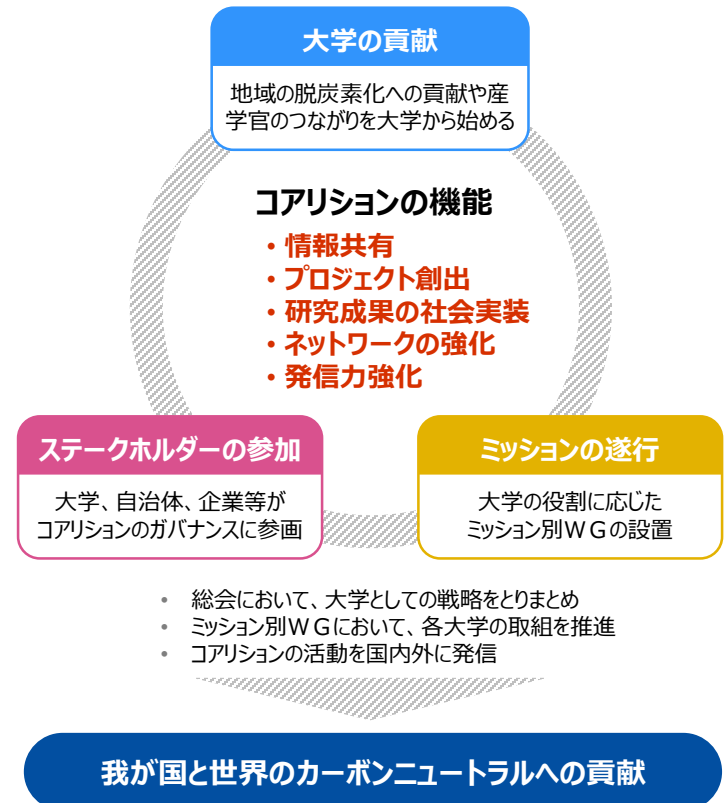
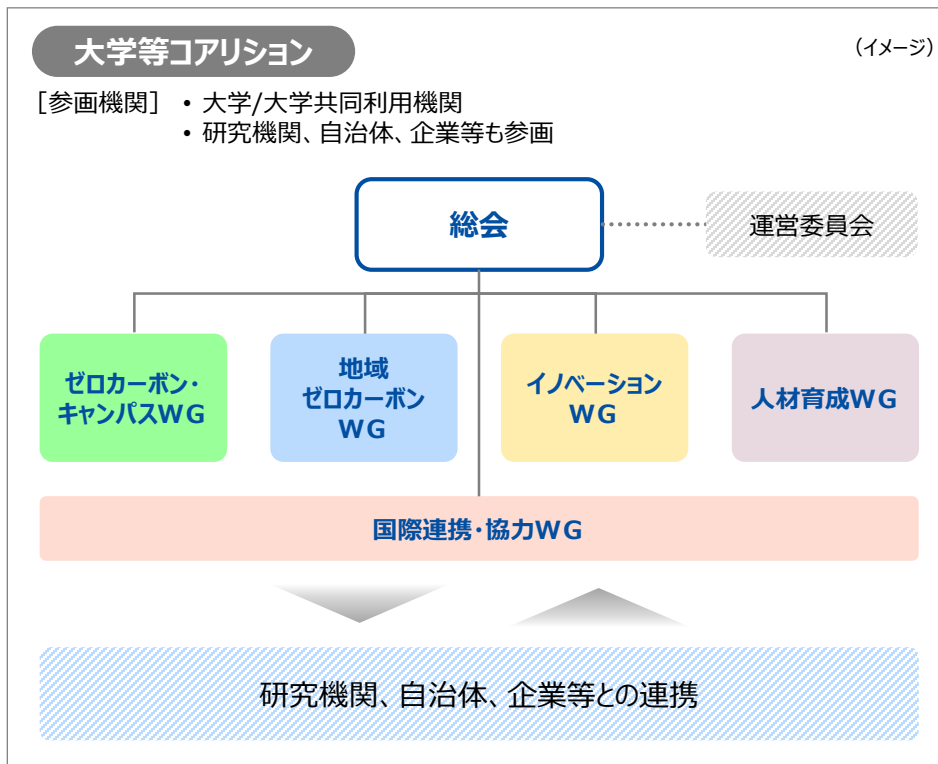


カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション

2050年カーボンニュートラル実現には、技術イノベーションのみならず経済社会イノベーションが不可欠であり、そのためには、人文社会科学から自然科学までの幅広い知見が必要。教育研究・社会貢献活動を通じて、**国・地域の政策やイノベーションの基盤となる科学的知見を創出し、その知を普及する使命を持つ大学の役割に大きな期待**。また、各地域の“知の拠点”として、**地域の脱炭素化を促し、その地域モデルを世界に展開**する役割も重要。

これを踏まえ、大学が、国、自治体、企業、国内外の大学等との連携強化を通じ、その機能や発信力を高める場として、**「カーボンニュートラル達成に貢献する大学等コアリション」**（大学等コアリション）を立ち上げる。



5つのWGの役割と活動の方向性（準備委員会とりまとめ概要）

（全WG共通事項）

- ✓各ミッションに係る参加大学等の持つ「知」を結集するため、各WGにおいて既存の取組や研究成果等を集約、展開
- ✓各WGのミッションは相互に関連するため、取組や成果共有等において十分に連携

ゼロカーボン・キャンパス WG

キャンパスをゼロカーボン化する

- ✓大学の形態・特性に応じた脱炭素化モデルの構築と横展開（2022までにモデルの方向性の整理）
- ✓WG全参加大学による方針とロードマップ等の策定（～2025）
- ✓国際的枠組み（Race to Zero等）への参画の推進

人材育成WG

カーボンニュートラル人材を育成する

- ✓カーボンニュートラル人材の在り方、必要な要素等の議論（～2022）
- ✓大学間連携による共同教育プログラムや教材等の創設（～2025）
- ✓企業、自治体、大学等間の人材交流の推進

地域ゼロカーボンWG

地域をゼロカーボン化する

- ✓自治体ネットワーク等と連携した、取組と成果共有のためのワークショップの開設（2022）
- ✓地域の計画・シナリオ策定に役立つ知見を創出する研究グループの創設（2021）
- ✓技術課題・制度的課題等の抽出ととりまとめ

イノベーションWG

研究開発と社会実装の推進のため 産学官民連携を強化する

- ✓カーボンニュートラルを共通の目標とする新たな産学官民連携枠組みの創設（2022）
- ✓新たな技術や価値観、行動様式創出のための人文・社会科学から自然科学までの研究者等が議論する場等の創設の検討

総会

取組の連携と発信

- ✓組織のトップの参画による学内の組織的対応の推進
- ✓コアリション全体・各WGの方向性の決定と成果の発信
- ✓WG間の連携の推進

国際連携・協力WG

日本と世界をつなぐ

- ✓米国・欧州等の大学ネットワーク等との連携
・「日米大学等合同検討会」（仮称）の設立（2021）
・欧州や国際的枠組み等との連携強化
- ✓新規開拓分野（地域の社会変革のための分野横断的研究、デジタル×グリーン等）の研究者交流の推進（2022～）
- ✓国際連携による教育プログラムの研究・創設（2022～）